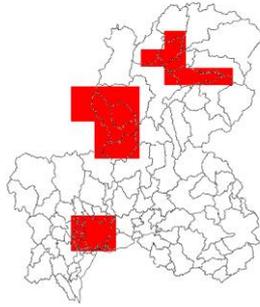


ヒメコウホネ	<i>Nuphar subintegerrima</i> (Casp.) Makino	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		スイレン科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	沈水葉、浮葉、抽水葉をつくる。葉は円心形で長さ8-15cm。花は直径3cm前後。柱頭は平たい。雄蕊の花糸は開葯後、外側へ倒れる。	
生態的特徴	水質のよい池や水路に生育する。花期は5-10月。	
分布状況	日本に固有で、関東と東海に分布する。岐阜県では飛騨地方の2地域と美濃地方中部の1地域に見られる。	
減少要因	池や水路の改修などによる生育可能な環境の変化と水質の悪化。	
保全対策	水質を含む生育しやすい環境の整備。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘